

第1回三陸リアスカップ ライフセービング競技大会 兼 第47回全日本ライフセービング 選手権大会東北・北海道地区予選	Jr/Yh/一般
	参加一次要項

三陸リアスカップライフセービング競技大会
実行委員会

【開催趣旨】

ライフセービングとは、人命尊重の精神から水辺の事故防止活動を中心に「救命」「教育」「スポーツ」の各分野における実践的な活動を通じて、事故や災害から貴重な人命を守る社会活動です。

ライフセービングスポーツ（競技）は、そのすべてが人命救助をベースとしていることから、人命を守るスポーツと呼ばれ、全国各地で競技会が開催されているほか、競泳や陸上、その他の競技スポーツでアスリートとして活躍しながら、水辺の安全確保のノウハウと人命救助のスキルを持ったスペシャリストであるライフセーバーを目指す方も増加しており、また、ライフセービングスポーツ（競技）が、その競技の結果（記録や成績）を出すことが目的ではなく、その課程において仲間とともに目的意識を持ってトレーニングを行い、個々のスキルを向上させることが、実際の現場で「人命を救える可能性を高める」という考え方が土台にあり、「競技の先に守るべき命がある」という共通認識のもとで互いに競い合いながら友情を深めるものとして、各界から賞賛されています。

本大会は、ライフセービングが広がりつつある東北において、ライフセービングスポーツのスピリットと楽しさをジュニアから社会人までのより多くの方々に実際に体験していただき、ライフセービングへの正しい理解を深め、全く初めて触れる方にもライフセービングを始めるきっかけを与えることを目的として開催するものです。

- ◆ 日程 2021年8月21日（土）、22日（日）
- ◆ 会場 宮城県気仙沼市「小田の浜海水浴場」
- ◆ 主催 三陸リアスカップライフセービング競技大会実行委員会
- ◆ 協力 宮城県ライフセービング協会
岩手県ライフセービング協会
気仙沼ライフセービングクラブ 釜石ライフセービングクラブ
盛岡ライフセービングクラブ
- ◆ 競技種目
 - ◇ 個人種目

- 1 ビーチスプリント (小学生)
- 2 ビーチスプリント (中・高校生)
- 3 ビーチスプリント (一般) ◎
- 4 ビーチフラッグス (小学生)
- 5 ビーチフラッグス (中・高校生)
- 6 ビーチフラッグス (一般)
- 7 1k mビーチラン (小学生)
- 8 2k mビーチラン (中・高校生・一般) ◎
- 9 サーフレース (小学生)
- 10 サーフレース (中・高校生)
- 11 サーフレース (一般) ◎
- 12 レスキューボードレース (高校生・一般)
- 13 ニッパーボードレース (小・中学生)

◇ 団体種目

- 14 ビーチリレー (小学生)
- 15 ビーチリレー (中・高校生)
- 16 ビーチリレー (一般)
- 17 レスキューチューブ・レスキュー (高校生・一般)
- 18 3×1k mビーチ駅伝

◇ ファンレース

- 19 PFD 装着スイムレース (小学校3年生以下)
- 20 津波フラッグレスキューレース (小学生とその保護者等)

~~※ ◎競技は、第47回全日本ライフセービング選手権大会の
東北・北海道地区予選を兼ねます。~~

- ジュニア (小学生) のチーム種目は、男女混合可とします。

◆ 競技方法

- ① 競技は、公益財団法人日本ライフセービング協会「ライフセービング競技規則2020年版」に準拠した本大会競技規則に基づき実施します。
- ② 個人種目・チーム種目を実施します。
- ③ 個人種目のエントリーは、選手1名につき2種目までとします。
(チーム種目、ファンレースを含まない。)
- ④ 主催者が定める一部種目については、タイム決勝で実施します。
- ⑤ 一部種目を除き、原則、予選は実施しない。ただし、種目競技者数が多数の場合は予選を実施する場合があります。
- ⑥ 男女ともに以下の区分で競技を実施します。
【ジュニア】 小学生 (男子)、小学生 (女子)

【ユース】 中学生（男子）（女子）、高校生（男子）（女子）

【一般】 ジュニア及びユース以外の学生及び社会人

~~⑦ ㊦印がついた種目については、第 42 回全日本ライフセービング選手権大会（日本選手権）の北海道・東北地区予選を兼ね、上位選手のうち、本大会までの間に全日本ライフセービング選手権大会出場資格を満たす者を同大会の予選規定等により定められた人数に応じて、北海道・東北地区代表として神奈川県藤沢市で開催される同大会本選大会出場者として選考対象とします。~~

◆ タイムテーブル

二次要項で各チーム・個人に通知します。

◆ 参加資格

本大会への個人参加資格は、各区分ともライフセービングの経験及び泳力等の有無を問いません。

チームエントリーについては、3 名以上をチームとし、スイミングクラブ、学校の部活動、地域の諸団体など既存のクラブ団体でも、有志による任意に結成したチームでも構いません。

◆ 表彰

競技種目の 1 位から 3 位を入賞とし、賞状を授与します。

また、ファンレースを除き、全種目の 1 位 10 点、2 位 8 点、3 位 5 点の得点をつけ、ジュニア部門、ユース部門、一般部門の 3 部門の総合得点 1 位のチームを部門別優勝として優勝カップを授与します。

◆ 参加費

大会当日に各チームまとめて（個人出場は個人ごと）大会本部に現金でのお支払いをお願いします。

【ジュニア】

◇ 小学生 1,000 円/人

【ユース】【一般】

◇ 中学生・高校生・学生・社会人 2,000 円/人

申込み締切後のエントリーは、ファンレースを除いて認めません。

◆ 代表者会議

令和 3 年 8 月 21 日（土）午前 10 時 30 分から、大会本部において代表者会議を開催します

◆ エスコートクラブについて

本大会は、ライフセービングを全く経験したことがない参加者にライフセービングスポーツの意義や楽しさを理解していただくとともに、全ての出場者が安全かつ安心して大会に臨めるようにするため、下記のライフセービングクラブをエスコートクラブとして指定し、大会申込みの取りまとめ、競技の説明や案内、大会当日の参加者の各種手配

などの世話を担当します。

気仙沼ライフセービングクラブ

釜石ライフセービングクラブ

盛岡ライフセービングクラブ

- ◆ 宿泊・食事について
各クラブで手配してください。
※ 申込みを行ったエスコートクラブで相談にも可能な限り応じます。
- ◆ 会場への交通アクセスについて
会場周辺の駐車場の収容能力には限りがあります。各チーム等で乗り合わせにご協力を願います。
- ◆ 2次要項について
参加チーム（個人参加の場合は個人）に大会1週間前を目処に郵送します。
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止措置について
本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全の対策を講じて実施します。
大会2週間以内に体調不良があった方、前日に発熱がある方の出場を認めないなど別途感染防止対策をご案内しますのでご協力をお願いします。
- ◆ 大会の中止等の判断
新型コロナウイルス感染拡大状況及び台風など悪天候、自然災害により大会の開催又は継続が困難な場合は、大会を中止する場合があります。（予備日は設けません）
上記の場合は、事前あるいは、大会当日午前6時までに各チームの代表者、個人参加の場合は個人に通知します。
- ◆ 申込方法
チームで申し込む方は、エントリーシート様式1-①、②を下記エスコートクラブまで郵送願います。

申込先（郵送先）及びお問い合わせ先

エスコート担当：盛岡ライフセービングクラブ

〒020-0022 岩手県盛岡市大通三丁目10番31号 1503号

盛岡ライフセービングクラブ代表 松原 浩一 行

お問い合わせ：090-3758-8520（松原）まで

申込締切：令和3年8月6日（金）必着

第1回三陸リアスカップライフセービング競技大会

【参加規程】

1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている者とする。

- 1-1 選手は、大会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること
- 1-2 選手は、自分の出場する種目のルールを熟知していること。
- 1-3 選手は、ライフセービング競技であることを理解してフェアプレイに徹するとともに、自他の安全確保に最大限の配慮を払うこと。
- 1-4 体調万全であり、主催者が求める新型コロナウイルス感染拡大防止措置に協力できること。

2 チーム構成

- 2-1 チームは3名以上とし、学校、スイミングクラブ、その他の地域クラブなど既存の団体等はもとより、本大会出場のために構成されたチームでもよい。
- 2-2 チームには、必ず代表者を1名選出すること。

3 個人出場

- 3-1 本大会には、チームでの出場以外に個人での出場も認める。

4 出場登録

- 4-1 選手は、あらかじめ所定の申込用紙を用いて出場登録を行わなければならない。なお、登録後の出場種目の変更及び未登録種目への出場はできない。
- 4-2 出場登録は1名につき、2種目までとする。
- 4-3 選手個人の技術や体力などを考慮してエントリーすること。

5 競技中の衣類

- 5-1 競技中の衣類は、水着とする。
- 5-2 水着は、形状（競泳水着、ワークアウト水着など）を問わないが、一般良識に反するものは、主催者が着用を制限することができる。
- 5-3 競技中、水着以外の衣類として、ラッシュガードのみ着用を認める。
- 5-4 選手は、コンペティションキャップ又は主催者が用意するあごひも付きのキャップを競技中は着用しなければならない。

6 参加費

- 6-1 参加費は、大会当日の競技開始前までに大会本部に現金で支払わなければならない。
- 6-2 参加費は、天候悪化や災害により大会または競技が中止になった場合であっても返金は行わない。

7 競技器材

- 7-1 競技器材は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- 7-2 競技器材は、日本ライフセービング協会競技規則に則った器材とする。

8 競技規則

- 8-1 日本ライフセービング協会競技規則に準拠した本大会の競技規則により実施する
- 8-2 本大会にはフィニッシュジャッジを置き、タイムレースを除いて着順についてはフィニッシュジャッジの判定をもって決する。
- 8-3 選手は、チーム参加の場合はチームの代表者を通じて、個人参加の場合は個人で審判長に対して異議申し立てをすることができる。

9 その他

- 9-1 大会中に大会主催者及び主催者が認めた者が撮影した写真・映像をライフセービング広報を目的として使用することがある。
- 9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 9-3 大会主催者への提出書類の記載事項等に虚偽があった場合は、大会への参加や記録が取り消される場合がある。

以 上